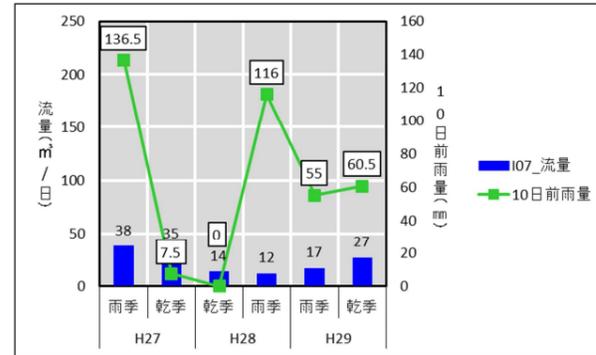
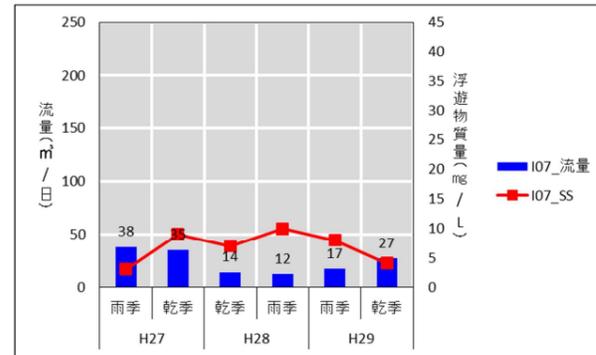
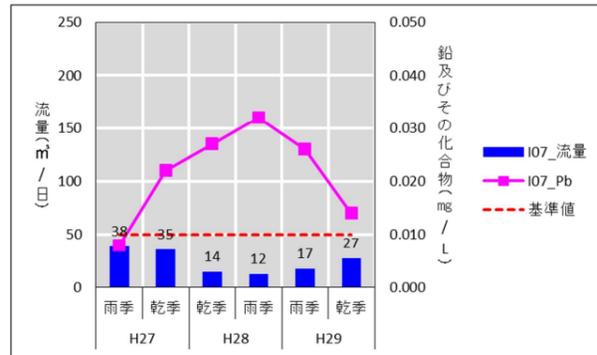


3. 考察

3-1. 表流水

下記に地点毎の鉛、SS、流量、雨量の関係を示し、右側には各調査時の雨量を示す。

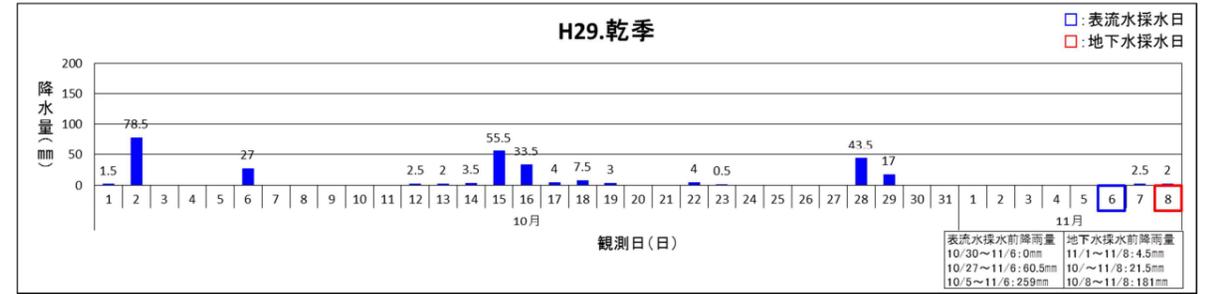
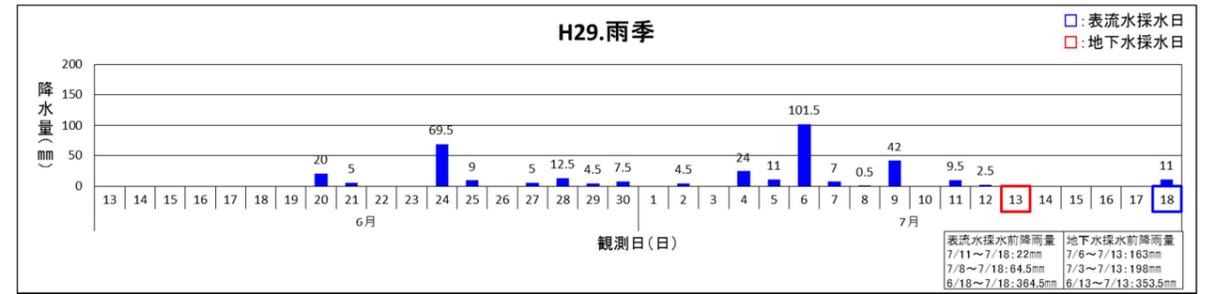
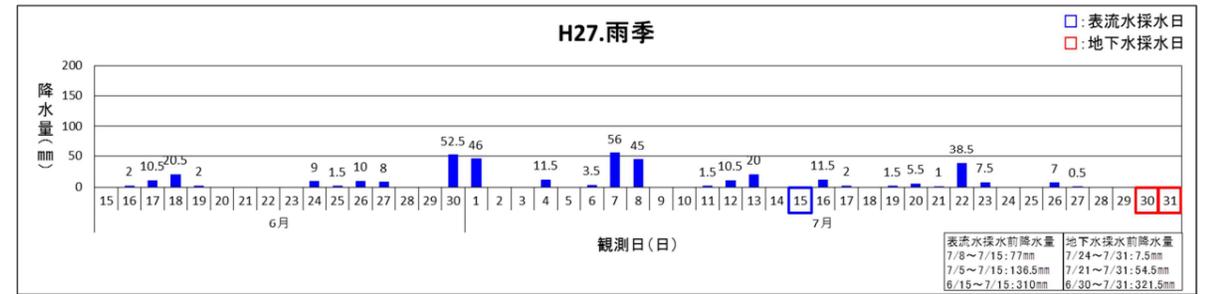
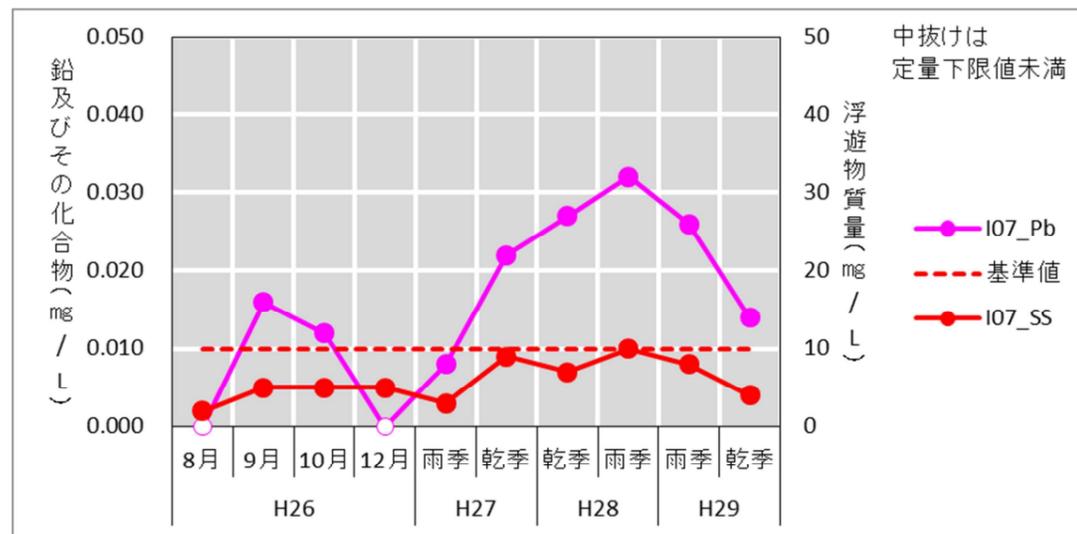
I07 地点



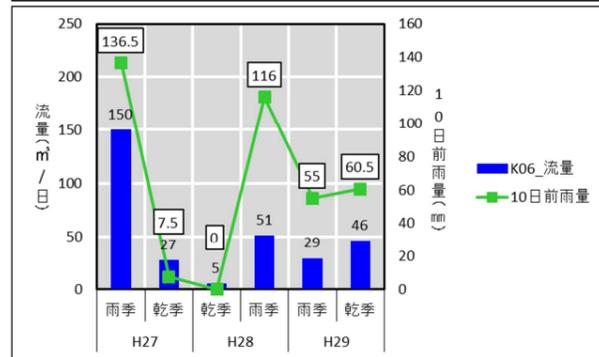
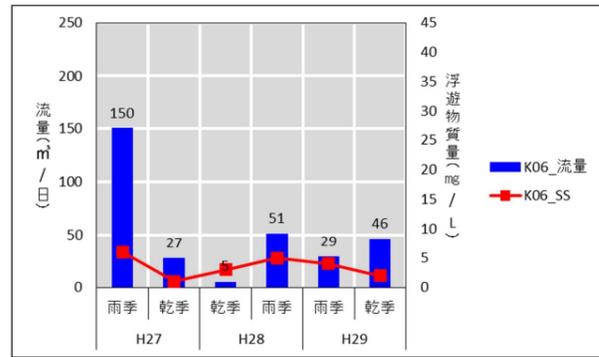
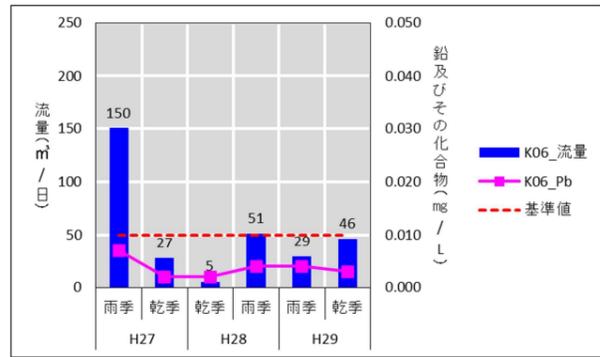
I07 地点は、流量に関係なく鉛が検出されている。流量が少ない時に鉛が多く検出されており、特に H28 年雨季は検出された鉛が最も多い。SS と流量との関連性は見出せなかった。鉛と SS は、前年度まで増加傾向だったが、今年度では減少している。また、両者の関係は H26 年 12 月、H28 年乾季等を除き増減傾向が類似していることから相関関係が伺える。

流量と雨量に関しては、他の地点と比べて流量変化が小さい。

調査日	I07										基準値
	H26				H27		H28		H29		
採水日	8/25	9/28	10/31	12/8	7/15	10/21	8/9	9/16	7/18	11/6	—
pH	7.0	7.5	7.2	7.6	7.5	7.4	7.4	7.4	7.3	7.4	—
Pb	N.D	0.016	0.012	N.D	0.008	0.022	0.027	0.032	0.026	0.014	0.01 以下
SS	2	5	5	5	3	9	7	10	8	4	25 以下



K06 地点



K06 地点は、これまでの結果から鉛と SS に相関関係があると考えられる。流量と雨量についても同様である。K06 地点は参考としている基準値を満足しているものの、前年度まで鉛・SS が増加傾向にあった。今年度調査では減少に転じた。

K06 地点はこれまでの調査で参考としている基準値を満足している。しかし、流量に関係なく鉛が検出される I07 地点の下流に位置している為、今後も注視が必要である。

調査日 項目	K06										基準値
	H26				H27		H28		H29		
採水日	8/25	9/28	10/31	12/8	7/15	10/21	8/9	9/16	7/18	11/6	—
pH	6.9	7.2	7.0	7.2	7.3	7.4	7.4	7.3	7.3	7.3	—
Pb	N.D	N.D	N.D	N.D	0.007	0.002	0.002	0.004	0.004	0.003	0.01 以下
SS	3	2	2	2	6	1	3	5	4	2	25 以下

